



町長のしごとと日記

～元気で笑顔のあふれる福島町を実現するために～

【令和4年度へ向けて決意を新たに・・・】

今年の桃の節句は、例年に比べてまだ雪が残る中で「ひな祭り」となりましたが、町長室では、淡いピンク色の可愛い桃の花が咲いております。

少しずつではありますが、春の息吹が日を増すごとに感じられるようになり、テレビでは、桜の便りが日本列島を北上するニュースが伝えられるようになりました。

三月一日（火）に、福島商業高等学校の卒業式に出席させていただきました。

昨年に引き続き、今年の卒業式も新型コロナウイルス感染症が拡大する中での開催となりましたが、今年は新たに十一名の卒業生が社会に巣立っております。

当日の祝辞でも述べさせていただきましたが、卒業生が大人として様々な困難を乗り越え、素直な気持ちをもって、社会にチャレンジしていただきたく思います。

そして、自分を育ててくれたふるさと福島町を誇りにもって、新たなふるさとへの応援団となることを期待しております。

三月と四月は、子どもたちにとって大事なイベントである卒業式や入学式が行われます。子どもたちにとっては、同級生や先生方との別れ、新たな友達との出会いの時でもあります。

子どもたちが日々の中で、これらの行事を通じて「一期一会」の縁が生まれることを期待しております。『頑張れ福島町の子どもたち』私たちは全力で応援いたします。コロナ禍で子育てに奮闘している保護者の皆様に、

福島町の宝である子どもたちを日々育てていただいていることに感謝申し上げます。三月八日（火）から議会定例会三月会議が開催されました。三月会議は、令和四年度の

の新たな町の予算が審議される大切な議会であり、予算審査特別委員会も同時に開催され、大変重要な議会となっております。

町政の基本方針や主要な施策に関しましては、冒頭の町政執行方針で述べさせていただきましたが、新年度の予算規模は、約四十二億七千万円となり、昨年度に比べて、一億八千五百万円(前年対比四・五%)の増額となっております。

増額の要因は、若者や子育て世帯を対象とした、定住向け町有住宅整備事業に関連した予算額が増額となったものです。

予算審査特別委員会での議論を経て、本会議において承認をいただいたうえで、町が予算を執行する仕組みとなっております。新年度においても予算の適正な執行に努めてまいりますので、町民の皆様のご理解とご協

力をお願いいたします。なお、詳しい内容につきましては、12ページでご確認ください。

新型コロナウイルス感染症との戦いが三年目を迎え、三回目のワクチン接種が行われており、五歳から十一歳の子どもたちを対象にしたワクチン接種も始まっております。新たな年度を迎え、改めて町民の皆様健康と安全を守ることが第一優先に取り組んでまいります。

小学校などに銅像のある二宮尊徳の言葉に、「**父母もその父母も我が身なり、われを愛せよ我を敬せよ**」とあります。尊徳は、父母、その父母と幾世代にもわたり連綿と続いた命、その命の炎が途切れることなく続いてきた命。尊い命の結晶、自分を愛し、他者を愛し、敬う生き方をしなさいと教えております。